

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	才想館		
○保護者評価実施期間	2024年 11月 1日		～ 2024年 11月 22日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	22人	(回答者数) 19人
○従業者評価実施期間	2024年 11月 1日		～ 2024年 11月 22日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	7名 (うち2名パート)	(回答者数) 7名
○事業者向け自己評価表作成日	年 月 日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	個別・小集団・集団と活動や子どもさんの状況に合わせて活動形態を変えて支援に取り組んでいるところ	・個別では子どもさん一人ひとりに合わせたオーダーメイドの課題の実施→個別で見えた新たな課題やできるようになったことは事業所内全体で取り組めるように情報共有 ・小集団では同じ学年(近い学年)や子どもさんのタイプでグループ分けを行い、小集団での成功体験を積む	・スタッフの質の向上として、職員研修の充実を図っている。
2	必要に応じて学校訪問し様子を見させていただき、子どもさんの学校での困り感や学校の先生方が感じられている困り感を共有し、事業所での支援に繋がられていること(ご家庭へのフィードバックも実施)	・送迎時、学校や家庭での様子を聞いたり、事業所での様子や取り組みをお伝えしている	・保護者様の同意を得たうえで学校と個別支援計画書の共有を図り、支援の方向性を合わせていく。
3			

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	保護者同士の交流の場や子どもたちの成長の様子を見てもらえるような場の設定が難しい	・保護者の就業状況や保護者同士の交流に対するニーズの違い等もあり、参加人数が定まらないことが予想され開催まで踏み込めていない。	・まずは保護者会を定期的開催し、保護者会の参加が安定してきてから交流の場へ移行していくことも検討。また、具体的に保護者の方が「行ってみたい」と思える内容の情報をお伝えしていく。
2	屋外での活動や交通ルール(交通機関の使用も含め)を実践的に学ぶ時間が少ない	・利用していただいている子どもさんの特性や課題としていることが幅広く、安全を第一に考えると屋外に出る場合沢山のスタッフ配置が必要であるため。	・室内活動時に屋外での動きやお約束を学んでいながら、状況に合わせて動けるように継続的に練習していく。(スタッフの動きも同様、いろいろな子どもさんの動きを想定したシミュレーションを行う) ・屋外活動の時にはスタッフを多く配置する。
3			